

タイトル「2021年度スポーツ科学部(公開用\_コロナ対策版)」、フォルダ「スポーツ科学部」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4606		
科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	益子 俊志		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 4		
講義室	1404	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け(開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP4-F[探究力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP3-G[状況把握力・判断力] 自らの置かれた状況、及び自分が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP4-I[理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP5-J[創造的挑戦力・達成力] コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 DP8-M[省察力] 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック(CR)との関連 F1探求と論拠-20% G1状況把握-40% I1理解・分析と読解-20% J1継続的学修基盤-10% M1統合的・応用的学修-10%</p>		
教員の実務経験	担当教員は日本スポーツ協会公認コーチ資格を有し、大学・社会人チームの監督コーチを経験してきました。担当科目では在職中の経験等の話も交えながら、コーチング理論を日常生活(キャリア形成)や健康・スポーツの現場での実践や研究ができるよう、これまでの知見と経験を活かしたゼミナールを行います。(第3回)		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期~4 定着期		
科目概要・キーワード	ゼミナールⅠに続き、グループでの作業を進め、最終的には研究発表会を開催します。研究発表会に向けて、研究のプレゼンテーション方法について実践を通して学んでいきます。また、卒業研究や卒業論文として各自が取り上げたい課題を選択していく準備を行い、論文の書き方についても理解を深めていきます。授業形態は、演習により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業(ライブ配信型)を取り入れます。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。 ■キーワード研究、省察、反省的实践		
授業の趣旨	<p>■副題 スポーツ科学に関する研究の実践および発表と振り返り</p> <p>■授業の目的 学習した内容を基に自身もしくはグループでゼミナールⅠで立案した研究計画の再検討を行いそれを実践し、研究結果に関する他者との議論内容を踏まえ、発表することができることを目的とする。</p> <p>■授業のポイント 研究計画の実行に伴い、コーチング学やスポーツ科学に関する研究方法の汎用性や限界について実践を通して学びます。</p>		
総合到達目標	<p>■コーチング学の研究について自身またグループ間で検討を重ね、その研究計画を立案、作成し、それに基づき計画を実行するために、結果の考察までをまとめ、発表を行うことができる。</p> <p>・自身の興味のある分野、領域の研究の進め方について選択すべき方法などを説明することができる。</p> <p>・他者との議論を重ね、自身およびグループの研究テーマを検討することができる。</p> <p>・他競技と比較し、自身の研究内容に反映することができる。</p>		
成績評価方法	<p>■レポート7回(50%) F1、I1、M1 (評価の観点) 授業内容を踏まえて論理立てて明確に自分の考えを示せることや、課題が正確に取り組みれているかを評価します。 (フィードバック方法) 授業時間中に「講評」を行います。</p> <p>■授業参加度(発言等) 15回(30%) G1、J1、M1 (評価の観点) 発言、質問、意見交換等、授業構築への参加度を評価します。 (フィードバック方法) 授業時間中に「講評」を行います。</p> <p>■実技・パフォーマンス(プレゼンテーション等) 1回(20%) F1、G1、M1 (評価の観点) 自身の研究計画を発表し、その内容について評価を行います。 (フィードバックの方法) 各パフォーマンス後に講評を行います。</p>		

履修条件	ゼミナール I [SSCS4605]を履修していること	
履修上の注意点		
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 試合の構造 ②授業概要 自身の競技の試合構造について概要を整理し、説明することができる。(F1、I1、J1)。 ③予習(120分) 自身の競技の試合構造とはどのような経緯があったのか大まかに整理しておく。 ④復習(120分) 自身の競技の試合構造について説明できるよう整理する。
	2	①授業テーマ 文献収集 ②授業概要 先行研究に関する文献や自分が興味のある文献を収集しを整理し、説明することができる。(F1、I1、J1)。 ③予習(120分) 自身の課題に即した文献の収集について、情報を整理しておく。 ④復習(120分) 自身の選んだ文献の研究手法や結果について、自身の課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	3	①授業テーマ 文献討議 ②授業概要 グループの中で先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる。(F1、I1、J1) 担当教員の実務経験を踏まえて内容と方法が適切か重点的に講義します。 ③予習(120分) 自身もしくはグループの課題に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習(120分) 自身の選んだ文献の研究手法や結果について、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	4	①授業テーマ 文献討議発表 ②授業概要 グループで討議した内容を発表しさらに討議を深め整理し、説明することができる。(F1、I1、J1) ③予習(120分) 自身もしくはグループの課題に即した文献の討議内容を整理し、発表の準備をしておく。 ④復習(120分) 自身の選んだ文献の研究手法や結果について発表したものをさらに深掘りして、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	5	①授業テーマ 個人・ユニット技術のキーファクター ②授業概要 自身の競技の個人・ユニット技術のキーファクターについて概要を整理し、説明することができる。(F1、I1、J1) ③予習(120分) 自身の競技の個人・ユニット技術のキーファクターとはどのような経緯があったのか大まかに整理しておくこと。 ④復習(120分) 自身の競技の個人・ユニット技術のキーファクターについて説明できるよう整理する。
	6	①授業テーマ 文献収集 ②授業概要 先行研究に関する文献や自分が興味のある文献を収集しを整理し、説明することができる。(F1、I1、J1) ③予習(120分) 自身の課題に即した文献の収集について、情報を整理しておく。 ④復習(120分) 自身の選んだ文献の研究手法や結果について、自身の課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	7	①授業テーマ 文献討議 ②授業概要 グループの中で先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる。(F1、I1、J1) ③予習(120分) 自身もしくはグループの課題に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習(120分) 自身の選んだ文献の研究手法や結果について、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	8	①授業テーマ 文献討議発表 ②授業概要 グループで討議した内容を発表しさらに討議を深め整理し、説明することができる。(F1、I1、J1)。 ③予習(120分) 自身もしくはグループの課題に即した文献の討議内容を整理し、発表の準備をしておく。 ④復習(120分) 自身の選んだ文献の研究手法や結果について発表したものをさらに深掘りして、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	9	①授業テーマ 競技の戦術論 ②授業概要 自身の競技の戦術論について概要を整理し、説明することができる。(F1、I1、J1)。 ③予習(120分) 自身の競技の戦術論とはどのような経緯があったのか大まかに整理しておく。 ④復習(120分) 自身の競技の戦術論について説明できるよう整理する。
	10	①授業テーマ 文献収集 ②授業概要 先行研究に関する文献や自分が興味のある文献を収集し整理し、説明することができる。(F1、I1、J1)。 ③予習(120分) 自身の課題に即した文献の収集について、情報を整理しておく。 ④復習(120分) 自身の選んだ文献の研究手法や結果について、自身の課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
	11	①授業テーマ 文献討議 ②授業概要 グループの中で先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる。(F1、I1、J1) ③予習(120分) 自身もしくはグループの課題に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習(120分) 自身の選んだ文献の研究手法や結果について、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
12	①授業テーマ 文献討議発表 ②授業概要 グループで討議した内容を発表しさらに討議を深め整理し、説明することができる。(F1、G1、I1、J1、M1) ③予習(120分) 自身もしくはグループの課題に即した文献の討議内容を整理し、発表の準備をしておく。 ④復習(120分) 自身の選んだ文献の研究手法や結果について発表したものをさらに深掘りして、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。	

13	<p>①授業テーマ 各自のテーマ設定および発表</p> <p>②授業概要 自身もしくはグループで討論した内容を踏まえて各自テーマを設定し発表して整理し、説明することができる。(F1、I1、J1)し。</p> <p>③予習(120分) 実際の発表を想定し、繰り返し発表の練習を行っておく。</p> <p>④復習(120分) 発表を振り返り、必要な修正や、卒業研究、卒業論文に向けた課題の選出を行っておく。</p>
14	<p>①授業テーマ 研究計画の立案</p> <p>②授業概要 発表したテーマにあわせ研究計画の詳細を詰め整理し、説明することができる。(F1、G1、I1、J1、M1)</p> <p>③予習(120分) 自身のテーマと研究の合理性や詳細について整理しておく。</p> <p>④復習(120分) 卒業研究、卒業論文に向けて自身の研究について情報を整理する。</p>
15	<p>①授業テーマ ゼミナールⅡのまとめ</p> <p>②授業概要 ゼミナールⅡで行われた授業内容を振り返り、卒業研究、卒業論文に向けて必要な情報を整理し振り返ることができる。(F1、G1、I1、J1、M1)</p> <p>③予習(120分) 自身がゼミナール開始から収集、精読してきた文献に関する情報を整理しておく。</p> <p>④復習(120分) 卒業研究、卒業論文に向けて必要な文献の整理を行っておく。</p>
関連科目	コーチング学研究法演習 SSCS2317
教科書	特に使用しません。
参考書・参考URL	特に使用しません。
連絡先・オフィスアワー	<p>■連絡先 開講時に通知します。</p> <p>■オフィスアワー 時間については事前のアポイントメントによって対応します。</p>
研究比率	

